

# 令和4年第1回北海道議会定例会 一般質問 開催状況

開催年月日 令和4年3月11日(金)  
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員  
 担当部課 総合政策部国際局国際課

質問要旨	答弁要旨
<p><b>一 知事の政治姿勢について</b>                      (一)ロシアによるウクライナ侵略等について                      1 ウクライナ侵略について                      ロシアによるウクライナへの侵略に対して国際社会は猛烈な非難の声を上げています。本道でも市民が「戦争反対」の声を上げ、道議会においてもロシアの侵略を非難する決議が全会一致で可決されました。                      知事は政府見解を引用して「断じて容認できない」と言っているだけで、知事の言葉は伝わってきません。                      ロシアの侵略に対して反対の声を知事として明確に意思表示するとともに、抗議と即時攻撃停止、部隊の撤収を働きかけるべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p><b>【再質】</b>                      ロシアは、無差別攻撃を激化させ、数千人の命を犠牲にし、難民は200万人を超えています。原発を攻撃し、世界の大惨事を招きかねない常軌を逸した侵略であり、断じて許せない状態です。だからこそ、国際社会はロシアとの経済関係、歴史的交流を置いてでも、軍事侵略を平和的に止めようと行動しているのです。しかし、知事の行動は、2月25日の知事会声明の一員であるだけで、対応を強く求めていると答えておりますけれども、いったいどう行動したのでしょうか。                      また、第二次世界大戦当時のソ連が、戦後処理の「領土不拡大」という大原則を踏みにじった結果、今も解決されない日露間の領土交渉を進展させるためにも、ロシアの蛮行は決して許してはなりません。                      領土問題や平和条約のために積み重ねてきた交流を損ないかねないと答えた知事は、わが国固有の領土を不法占拠されている当事者として、自分の言葉で、抗議の意思を伝え、攻撃中止を強く求めるべきではありませんか。改めて見解を伺います。</p> <p><b>【再々】</b>                      ロシアのプーチン大統領がロシア国内の報道を規制する動きが報道されていますが、まさにプーチン大統領が世論を恐れていることの表れです。                      2月24日、ロシアはウクライナに武力侵攻し、直後の28日に東京都知事はロシアによる侵略に抗議し、都庁をウクライナ国旗の青と黄色にライトアップしました。                      北海道では帯広市長、苫小牧市長、北見市長などが次々とロシアのプーチン大統領に対し、厳重な抗議</p>	<p>(知事)                      最初に、ウクライナ情勢についてであります。ウクライナに対するロシアの侵略に関して、私としては、これまで築いてきたロシアとの地域間の絆や、領土問題の解決と平和条約の締結に資する環境整備に向けて積み重ねてきた交流を損ないかねないことから、断じて容認できないと考えております。                      また、全国知事会とともに、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議し即時に完全かつ無条件でのロシア軍の撤退と世界の恒久平和に向けた国際法に基づく誠意を持った対応を強く求めているところであります。</p> <p>(知事)                      最初にウクライナ情勢についてであります。私としては、ロシアによるウクライナ侵略は、力による一方的な現状変更は認められないという国際秩序の根幹を揺るがすものとして断じて容認できないことから、全国知事会とともに、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議し即時に完全かつ無条件でのロシア軍の撤退と世界の恒久平和に向けた国際法に基づく誠意を持った対応を強く求めているところであります。</p> <p>(知事)                      ウクライナ情勢については、私としては、ロシアによるウクライナ侵略は、国際秩序の根幹を揺るがすものとして断じて容認できないことから、全国知事会とともに、ウクライナへの攻撃や主権侵害に抗議し、ロシア軍の即時撤退と国際法に基づく対応を強く求めているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>文を送っています。苫小牧市長の抗議文では、国際社会が核のない世界の実現に向けて努力する中、核兵器の使用はもとより、威嚇行為も断じてあってはならないと明言し、非核平和都市条例を持つ苫小牧市を代表して、人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、平和解決の道を探ることを強く求めると厳重な抗議を示してプーチン大統領に送付しています。思想信条は違いますが、それを越えて今こそ世界中から声を上げ、行動する時ではないでしょうか。</p> <p>知事は全国知事会の抗議声明をもって、行動したと胸を張っていますけれども、岡山県知事、長崎県知事などはプーチン大統領あてに抗議文を送付しております。</p> <p>ロシアとの交流を積み重ねてきたと自負するのなら、鈴木知事だからこそ出来る行動をとるべきではないかと考えます。フットワークが軽く、行動力のある知事がその行動をすることを求めたいと思いますが、答弁を求めます。</p>	